

平成30年度医学部看護学科入学者選抜

(3年次編入学)

試験問題

総合問題

注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は5枚です。指示があつてから確認してください。
- 3 解答はすべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 問題紙は持ち帰って下さい。

[1] 次の患者の情報を読んで（1）～（3）の問い合わせに答えなさい。

20歳女性、生来健康

1か月前から倦怠感が出現、息切れ、動悸を自覚し、顔色不良を指摘された。

1週前より発熱、咳嗽、鼻出血と歯肉出血有り、月経量は普段より多い。

診察所見：

体温 38.1度、脈拍 110回/分、血圧 130/80 mmHg、顔面蒼白

結膜は貧血様だが黄染無し、歯肉出血有り、頸部リンパ節腫大無し、肝脾腫無し

両肺に湿性ラ音を聴取、下肢に出血斑散在、膝関節と足関節の腫大無し

末梢血液検査：

赤血球数  $200 \times 10^4/\mu\text{L}$ 、ヘモグロビン 5.9g/dL、ヘマトクリット 19 %

白血球数  $700/\mu\text{L}$  (好中球  $300/\mu\text{L}$ 、リンパ球  $400/\mu\text{L}$ 、芽球無し)

血小板数  $6,000/\mu\text{L}$

MCV 95fL (正常対照 81-100)

MCH 29.5pg (正常対照 29-35)

MCHC 31% (正常対照 30-35)

PT-INR 1.0 (正常対照 0.9-1.1)

APTT 35秒 (正常対照 27-37)

(1) この患者の所見を正しく述べているものを3つ選びなさい。

- (ア) 汎血球減少が見られる
- (イ) 凝固機能異常が見られる
- (ウ) 易感染状態と考えられる
- (エ) 赤血球の溶血亢進が原因である
- (オ) 小球性低色素性貧血が見られる
- (カ) 脈拍の上昇は貧血が原因である
- (キ) 網状赤血球は上昇していると考えられる
- (ク) ビタミンKの静注が出血症状に有効である
- (ケ) 血清鉄と血清フェリチンは低値と予想される
- (コ) 遺伝性の出血性疾患が疑われる所以、家族歴の聴取が必要である

(2) 最も可能性が高い疾患を1つあげなさい。

(3) 確定診断のために必要不可欠な検査を1つあげなさい。

[2] 次の文章の（ア）～（コ）に最も適当な語句または数字を記入しなさい。

これまで健康であった45歳の女性が、誘因なく突然の激しい頭痛、嘔吐、意識障害のため、救急搬送された。痛み刺激に対して全く反応せず、覚醒しない。

この症例で最も疑うべき疾患は、（ア）であり、その原因として（イ）が最も多い。この症例では痛み刺激に全く反応しないので、Japan Coma Scale で評価すると意識レベルは（ウ）である。一般に、急性期に（エ）が起きると非常に予後が悪く、しばしば（オ）という状態を経て、さらに（カ）という不可逆的かつ重篤な状態を生じ、その結果（キ）を圧迫し、脳死に至る。脳死に至ると（ク）反射や咳反射は消失し、次第に自発呼吸が失われ、心停止に至る。また、急性期を過ぎた後も（ケ）や（コ）などの合併症を生ずる。

[3] 副腎皮質ホルモンに関する次の文章の（ア）～（コ）に最も適当な語句を記入しなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

副腎皮質ホルモン（別名コルチゾール）は、血圧、血糖値、電解質を一定に保つ働きを持つ生体に必須の物質である。副腎皮質ホルモンは、（ア）前葉から分泌される（イ）によって分泌が促進されるが、副腎皮質ホルモン製剤の継続投与などによって、副腎皮質ホルモンが体内で過剰になると、（ウ）機構が働き（イ）の分泌が（エ）される。その結果、内因性の副腎皮質ホルモンの分泌は（オ）される。この状態で突然に副腎皮質ホルモン製剤を中断すると、体内では副腎皮質ホルモンが（カ）するので、血圧は（キ）し、血糖値は（ク）し、血清Naが（ケ）し、ショックや死に至ることがある。このような状態を（コ）と呼ぶ。したがって、副腎皮質ホルモン製剤を長期に投薬されている患者で副腎皮質ホルモン製剤を中断する時には、徐々に減量すべきである。

[4] ニード論に基づく看護について（1）及び（2）の問い合わせに答えなさい。

（1）マズローが提唱した「人間の最下層の基本的ニード」を充足するために、「ヘンダーソンが掲げた基本的看護」を3つあげなさい。

（2）同じく最上層のニードを充足するための基本的看護を2つあげなさい。

[5] 浸脇実施における危険性について、(1) 及び (2) の問い合わせに答えなさい。

(1) 座位や立位での浸脇実施における最も重篤な合併症をあげなさい。

(2) 座位や立位での浸脇が危険である理由について、解剖学的に説明しなさい。

[6] 胃管の挿入位置を確認する方法について、(1) 及び (2) の問い合わせに答えなさい。

(1) 挿入した胃管の先端が胃内の適切な位置にあることを確認するための方法として、長らく空気注入聴診法が用いられてきた。この方法が適切でない理由を答えなさい。

(2) 空気注入聴診法に替わるより正確な方法として推奨されている確認方法について、信頼度の高い順に2つ答えなさい。さらに、各々の実施における限界について説明しなさい。

[7] 手術侵襲を受けた患者の生体反応に関する次の文章の(ア)～(オ)に最も適当な語句を記入しなさい。

- (1) 術後3日頃までは傷害期といわれ、脳や損傷した組織へエネルギーを供給するなどの目的で(ア)が上昇する。
- (2) 傷害期では血管の透過性が亢進し、細胞外液が(イ)に移行する。
- (3) 術後の生体反応には(ウ)とサイトカインが関与している。
- (4) 術後の患者のエネルギー代謝は(エ)する。
- (5) 転換期になると、炎症反応が回復し、血管内へ細胞外液が戻り、(オ)が増加し始める。

[8] 急性心筋梗塞に関する次の文章の（ア）～（サ）に最も適当な語句または数字を記入しなさい。

- (1) 急性心筋梗塞の主訴の特徴は（ア）分以上継続する胸痛である。また、心窓部痛や背部痛などの（イ）のこともある。高齢者や（ウ）患者では全く胸痛を認めないことがある。
- (2) 急性心筋梗塞の発症直後の12誘導心電図においては、（エ）の增高、（オ）の上昇がみられる。
- (3) 急性心筋梗塞の三大合併症は、（カ）、（キ）、（ク）ショックである。
- (4) 急性心筋梗塞患者の心臓リハビリテーションは、（ケ）を改善・予防するために段階的に進める。
- (5) 急性心筋梗塞患者の活動を拡大する際、過剰な（コ）がかからないように（サ）を避ける必要がある。

[9] 次の文章を読んで（1）～（3）の問い合わせに答えなさい。

Aさん（58歳・男性）は、今回の入院において、慢性腎不全のため左前腕にシャントを造設し、血液透析が開始となった。

- (1) Aさんは、血液透析終了後に、頭痛、嘔気、脱力感を訴えた。Aさんに起きている症状名を答えなさい。
- (2) 上記（1）の症状が起きる理由を答えなさい。
- (3) シャントが閉塞しないようにするために、Aさんが日常生活において避けなければならない動作を2つあげなさい。

[10] 高齢者虐待に関する次の文章の（ア）～（カ）に最も適当な語句を入れなさい。

- (1) 虐待を受けている高齢者数は、（ア）傾向にあり、虐待者で最も多い続柄は（イ）である。
- (2) 高齢者虐待防止法では、虐待行為として、身体的虐待、介護放棄、心理的虐待、（ウ）的虐待、（エ）的虐待を定めている。
- (3) 高齢者虐待を発見した者は、（オ）に通報する義務がある。
- (4) （カ）は、地域における高齢者虐待対応の中核機関のひとつである。

[11] 厚生労働省が推進する国民運動計画である「健やか親子21」に関する（1）及び（2）の問い合わせに答えなさい。

- (1) 「健やか親子21」の最終評価において、悪化した指標を2つあげなさい。
- (2) 「健やか親子21（第2次）」に関する次の文章の（ア）～（カ）に最も適当な語句または数字を入れなさい。

「健やか親子21（第2次）」は、平成（ア）年から始まっており、10年後に「すべての子どもが健やかに育つ社会」の実現に向けて、3つの基盤課題と2つの重点課題を設定している。基盤課題は、切れ目ない（イ）への保健対策、（ウ）から成人期に向けた保健対策、子どもの健やかな成長を見守り育む（エ）である。重点課題は、（オ）を感じる親に寄り添う支援、妊娠期からの（カ）防止対策である。